

# 令和5年度 新居浜市の決算

財政課 ☎ 65-1220



決算って？

4月1日から翌年3月31日までの1年間でどのような収入があり、どのように使ったか（支出）を明らかにするものです。



歳入決算額 **561.4** 億円

自主財源 47.1%		依存財源 52.9%			
市税 205.8 億円	諸収入 など 35.0 億円	国県支出金 148.9 億円	地方 交付税 59.0 億円	40.7 億円	市債 48.5 億円
繰入金 11.1 億円		繰越金 12.4 億円		地方消費税交付金など	

歳出決算額 **551.0** 億円

民生費 230.7 億円	教育費 72.2 億円	総務費 57.9 億円	土木費 51.6 億円	公債費 47.7 億円	衛生費 37.1 億円	商工費・ 消防費 など 53.8 億円
-----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	------------------------------



令和5年度の歳入歳出の結果は？

歳入決算額から歳出決算額を差し引くと、

歳入 **561.4 億円** - 歳出 **551.0 億円**  
= **10.4 億円** の黒字  
( 形式収支)

上の赤斜線部分が  
形式収支です！

形式収支から翌年度の繰越財源  
(翌年度に繰り越す事業の実施  
に必要な財源) を差し引くと、

**9.5 億円** の黒字  
( 実質収支)



教育費

学校給食センター建設事業

24 億 5,927 万円



王子町に、西部学校給食センターを建設。

## 令和5年度の主な実施事業

歳出決算額の約4割を占める民生費では、小学生から高校生などまでの医療費を無償化する子ども医療助成費（3億7,399万円）や、障がい児の通所および相談支援などに係る給付費として、障がい児通所支援事業費（7億8,979万円）などを支出しました。

また物価高騰による給食の食材購入費の助成として、保育所等給食支援事業費（572万円）、教育費として学校給食支援事業費（5,151万円）を支出しました。

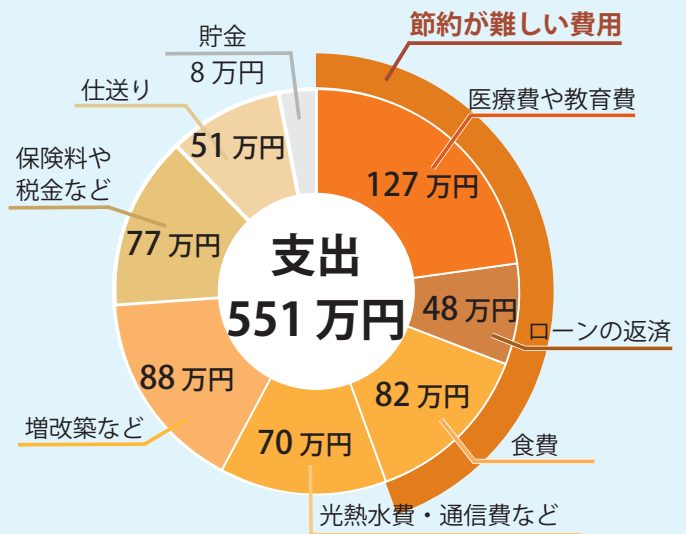
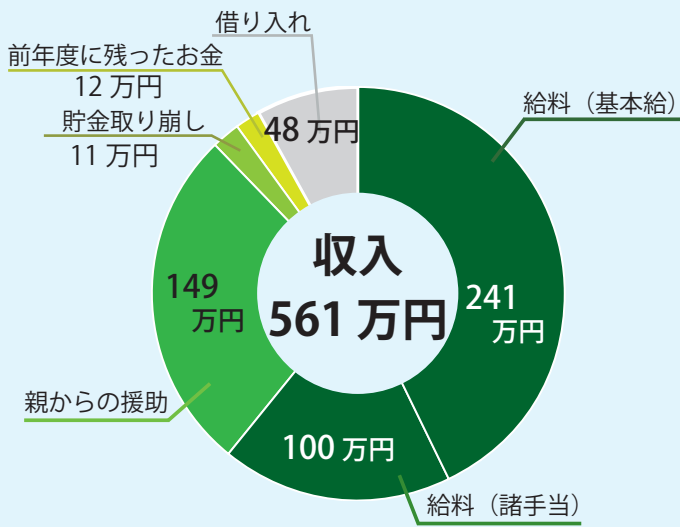
一緒に  
ひもといていこう！



## 新居浜家（市）の 台所事情についてお知らせします

本市の人口を1万分の1のスケールに置き換え、家計簿に例えて  
本市の台所事情を確認します。

### 新居浜家（市）の家計簿



収入の大半を占める給料（市税など）は341万円、親からの援助（国県支出金）が、149万円です。

前年度に残ったお金（繰越金）が12万円ありましたが、貯金を11万円取り崩した（繰入金）ほか、48万円の借り入れ（市債）をした結果、561万円の収入となりました。

これらの収入のうち、医療費や教育費（扶助費）

に127万円、ローンの返済（公債費）に48万円、食費（人件費）に82万円、光熱水費・通信費など（物件費）に70万円、増改築（普通建設事業費など）や保険料（補助費など）などで224万円を使った結果、支出の総額は551万円となりました。

この結果、家計簿は10万円の黒字になっています。

土木費

公営住宅建替推進事業

3億5,329万円



東田市営住宅（2号棟）を建設。

衛生費

高効率照明整備事業

1億4,303万円



市内照明灯（1,003灯）のLED化を実施。

# 昨年度と比べるとどうだったの？



昨年度と比較して、歳入総額は5.4%の増、歳出総額は5.6%の増となり、歳入歳出ともに昨年度の決算額を上回りました。

## 歳入・歳出決算額

歳入決算額は、28億8,048万4千円増加しています。これを市民一人当たりの収入額にすると31,188円の増です。

主な増加の要因は、固定資産税（償却資産）の増収や西部学校給食センターの建設に伴い、国庫支出金や市債が増加したためです。

歳出決算額は、29億2,979万6千円増加しています。これを市民一人当たりの支出額にすると、31,504円の増です。

主な増加の要因は、学校給食センターの建設により教育費が増加したためです。

歳入決算額		市民一人 当たり収入額
令和5年度	561億3,578万8千円	494,737円
令和4年度	532億5,530万4千円	463,549円
増減額	28億8,048万4千円	31,188円

歳出決算額		市民一人 当たり支出額
令和5年度	551億373万8千円	485,641円
令和4年度	521億7,394万2千円	454,137円
増減額	29億2,979万6千円	31,504円

歳入では、市税の割合が最も大きく36.7%を占め、次いで国庫支出金19.9%、地方交付税10.5%の順となっています。

歳出では、民生費の割合が最も大きく41.9%を占め、次いで教育費13.1%、総務費10.5%の順となっています。



## 市債残高（借金）

市債残高は、2億8,374万9千円増加しています。これを市民一人当たりの支出額にすると8,209円の増となり、一人当たりの借金額は464,355円となっています。

市債残高		市民一人 当たり借金額
令和5年度	526億8,855万3千円	464,355円
令和4年度	524億480万4千円	456,146円
増減額	2億8,374万9千円	8,209円

## 財政調整基金残高（貯金）

財政調整基金残高は、2億2,126万1千円増加しています。これを市民一人当たりの支出額にすると2,101円の増となり、一人当たりの貯金額は、14,170円となっています。

財政調整基金残高		市民一人 当たり貯金額
令和5年度	16億777万9千円	14,170円
令和4年度	13億8,651万8千円	12,069円
増減額	2億2,126万1千円	2,101円



市債は、資金調達的手段ではありますが、財政負担の平準化を行うとともに、現在世代と将来世代の負担を公平に保つ機能を有しています。

財政調整基金は、災害や社会情勢の変動などの不測の事態に対応するために行っている貯金です。